

1. 収支（予算）

【予算収入と根拠】年間予算見込み：15000 万円（処遇改善加算込み）年間平均稼働率：98%

- ・月ごとの収入上限が固定されているので、収入の安定化を図るために、長期入院時のショートで空床活用及び早期退院調整を実施していく。またご逝去等による空床を最小限に抑える為に、事前面談を行い、1 週間以内の新入居を前年度同様にアプローチしていく。
- ・基本報酬の見直しで、多少の収入増加は見込まれるが、新たな加算に関しては、要件の解釈が分かり次第、習得できるものは算定をしていき、収入増加を図る。
- ・新型コロナウイルス感染症に対応するための特例的な評価として、2021 年 9 月までの期間、基本報酬に 0.1% 上乗せとなる為、収入増加が見込まれる。

【支出項目特記事】

- ・介助用ベッド 13 台（200 万）※ユニットごとに、3 年計画で全室のベッドを変更
- ・掃除機 3 台（15 万）・立位保持用リフト（補助金活用 30 万）
- ・施設修繕費（200 万）・各ユニット台所の排水管洗浄（30 万）
- ・認知症介護実践者研修、全国ユニットケアセミナー・喀痰吸引 2 号研修・ユニットリーダー研修・宅老連続研修・他施設実習などの外部研修費用予算（50 万円）

2. 職員（育成・研修など）

【職員育成・研修】

- ・今年度は留学生職員の採用が多くあったことから、次年度は留学生職員の育成が必須となる。留学生職員には、部門内での基礎研修の実施や、各ユニットで OJT を実施していき、特養から自信を持って、他部署で活躍できるような人材育成を目指す。
- ・全体研修も引き続き開催し、外部研修には中堅職員を中心とし、積極的に参加していく。また、前年度、職員の退職もあり、職員を指導する側の向上も必須である。人材育成に特化した中堅職員研修を立案していき、指導する側の育成も視野に入れていく。
- ・前年度は予定していた、全体研修で職員 1 人ひとりが自由闊達な意見交換を行う場、自分の支援を振り返る場、次の支援に取り組む為の場、チームして計 2 回なごみのお年寄り支援に関して話し合う場を設けていたが、コロナの影響で 2 回とも開催できなかった。今年度改めて開催を検討し、入居者さんが抱えている想いに気づく機会を作り、職員同士が互いに、自分の想いや考えを伝えられる場を設けていく。

3. 事業内容（おもな企画）

- ・補足として、2022 年 4 月に『なごみ感謝祭』開催予定。その為、2022 年 1 月から準備を開始していく。また、「個別外出企画」は入居者さんの声を中心に企画立案する。
- ・個別支援に視点を当て、入居者さんの想いや声を実践という形で支援をし、もっとこんなことがしたいと言える環境を築いていく。そのような実践を繰り返していくことで、

入居者が抱えている想いに気づけるようになり、また、職員同士が互いに想いを伝えられる関係性になることを目指す。

年間事業計画（予定）

月	内容	月	内容
4月	・造幣局花見・各ユニット花見 ・全体研修「各ユニット事業計画」	10月	・個別外出企画② ・全体研修「身体拘束・虐待防止」
5月	・母の日・ツツジ見学 ・歓迎会（入居者さんと一緒に）	11月	・秋の遠足 ・全体研修「感染症」
6月	・父の日・住吉大社のお田植 ・全体研修「接遇」	12月	・忘年会・家族会 ・全体研修「食中毒」
7月	・個別外出企画① ・全体研修「認知症理解」	1月	・初詣 ・全体研修「お年寄り理解②」
8月	・納涼祭（花火大会） ・全体研修「お年寄り理解①」	2月	・我孫子観音 ・全体研修「実践報告」
9月	・敬老の日 ・全体研修「リスクマネジメント」	3月	・ふらっと楽しむ住吉 ・全体研修「年度の振り返り」

2021 年度 特養（短期入所）事業計画書

1. 収支（予算）

【予算収入と根拠】年間予算見込み：2200 万円 年間平均稼働率：95%

- ・入居の入院者発生時の空床を、積極的に活用した事業運営を図る。
- ・各事業者からの緊急ケースを積極的に受け入れ、ショート利用中に身体の改善を図り、地域の方がいつまでも在宅生活の継続をすることが、支えられる短期入所の在り方を作る。
- ・基本報酬の見直しで、多少の収入増加は見込まれるが、新たに習得する加算はなし。
- ・新型コロナウイルス感染症に対応するための特例的な評価として、2021 年 9 月までの期間、基本報酬に 0.1% 上乗せとなる為、収入増加が見込まれる。

【支出項目特記事項】

- ・短期入所の居室 5 床に、加湿器付き空気清浄機の設置（15～20 万）

2. 職員（育成・研修など）

- ・特養（入居）と同様
- ・短期入所利用者家族の想い、家族支援についての理解
- ・前年度同様で、送迎可能な職員の育成（運転技術向上）

3. 事業内容（おもな企画）

- ・特養（入居）と同様・各居宅事業所及び近隣施設への営業及び広報活動

2021 年度 なごみヘルパーステーション 事業計画書

1. 収支（予算）

【予算収入と根拠】

予算収入は2020年度の数字維持5,400万円を目指す
2021年の介護報酬改定は各サービスコード別で1単位プラスだけにとどまり大きな増収は見込めない。
介護度の高い方は利用いただいている期間はプラス収入も大きいが入院などのリスクも高い。その状況をすぐにカバー出来るかは難しい問題
新規相談など積極的に受けていく。
大阪市ケア付き住宅生活援助員配置事業の受託については継続

【支出項目特記事項】

2月から3月ごろに災害時用備蓄品購入

2. 職員（育成・研修など）

サービス提供責任者研修：岩城
法人新人研修：森

3. 事業内容（おもな企画）

・ヘルパー学習会

年間事業計画（予定）

月	内容		
毎月	ヘルパー学習会		
5月	懇親会		
9月	お疲れさん会		

2021 年度 なごみデイサービス 事業計画書

1. 収支（予算）

【予算収入と根拠】5800万円

コロナウイルス感染拡大防止の観点より、施設入所者の外出不可等、稼働率の向上が厳しい背景有。

平均稼働率90%を目指し、予算達成することを目指す。

【支出項目特記事項】

電化製品の劣化と施設物品の老朽化に伴う故障が生じた場合
電化製品（乾燥機・エアコン）設備機器（ボイラー）

2. 職員（育成・研修など）

▼定期的な部門内研修の実施

利用者アンケートより、なにもすることがなくて退屈という意見を頂いたことから、内部研修を通して個別支援を深め、実践に結び付けていくことを目標とする。

【個別援助計画書の作成（展開）と実践】

石川【テーマ：コミュニケーション】

聴く・訊く・話すのスキルを身につけ、コミュニケーション能力向上を図り、利用者支援に結びつける。

辺見【テーマ：感染症・音楽レクリエーション】

コロナ禍での感染症対策。自分とご利用者の身を守る。すべての感染症対策を見直しマニュアルの更新を図る。

川端【テーマ：レクリエーション】

楽しいと思うレクリエーションを実施し、感動を呼び起こす。

3. 事業内容（おもな企画）

・コロナの状況にもよるが、地域交流を目的としたデイ発信の取組

デイのご利用者と地域住民の交流、なごみデイサービスのファンを広める。

企画案：将棋、オセロ倶楽部の再開・なごみデイ料理教室・手芸教室・なごみデイバザーなど。

年間事業計画（予定）

月	内容	月	内容
4月	お花見 デイ全大会議	10月	秋の遠足、品質向上月間 デイ全体会議
5月	母の日、端午の節句、しょうぶ湯、粗大ごみ回収	11月	秋の遠足、品質向上月間、冬期 人事考課
6月	父の日、保育所交流会、夏季人事考課 デイ全体会議	12月	クリスマス会、ゆず湯 デイ全体会議 年末入浴
7月	七夕まつり、流しそうめん、防災訓練	1月	新年会
8月	納涼祭 デイ全体会議	2月	節分 浴室機器メンテナンス(オイル交換) デイ全体会議
9月	敬老会	3月	ひな祭り 防災訓練

2021年度 なごみケアプランセンター 事業計画書

1. 収支（予算）

【予算収入と根拠】

収入 20,000-事業所加算Ⅱ継続（1名あたり35名以上40ケース未満目標）

※特定事業所加算Ⅱ算定要件（項目9）介護支援専門員1人（常勤換算）の利用者数（介護予防含む）が40名未満

【支出項目特記事項】

ケアマネ・主任ケアマネ、更新（新規）申請費用・外部研修

2. 職員（育成・研修など）

▼なごみの顔となってくれる職員の育成

- ・部内ミーティング強化+伝達研修（外部研修に参加した人が部内で共有し話し合う）
- ・地域の方と関われる場への積極的な参加（ゾーン会議など）
- ・衛生（管理）研修の参加や、感染症対策の実施と継続
- ・部署内、部署間での学習会の実施

▼ケース状況や、支援の深さに応じた担当者数の調整を図る。

マネジメントの質的向上・維持を図る為、又、個々の職員が利用者や支援者間と共に、やりがいや生きがいを感じた支援に結びつく実践を紡ぎだしていけるよう、個の負担感の解消やメンタルケアにも力をいれていきたい。

3. 事業内容（おもな企画）

- ・住吉中学校区エリアへの積極的な受入。
迅速、丁寧な関りを深め地域の相談窓口を目指す（利用者アンケートの取組）
- ・ZOOMを活用しての勉強会や交流会の開催や参加。
- ・なごみ内での部署間交流を図っていきたい。

年間事業計画（予定）

月	内容	月	内容
4月	なごみーていんぐ	10月	なごみーていんぐ・品質向上月間
5月	なごみーていんぐ・粗大ゴミ回収	11月	なごみーていんぐ・品質向上月間・住吉区総合防災訓練・秋季人事考課
6月	なごみーていんぐ・夏季人事考課	12月	なごみーていんぐ
7月	なごみーていんぐ・防災訓練	1月	なごみーていんぐ
8月	なごみーていんぐ	2月	なごみーていんぐ
9月	なごみーていんぐ	3月	なごみーていんぐ

1. 収支（予算）

【支出項目特記事項】

大阪市からの委託事業。介護予防支援事業のケアプラン料

2. 職員（育成・研修など）

前年度に引き続き、圏域内の相談職（ケアマネ）や介護保険事業所対象の研修を実施し、専門職のスキルアップを図る

3. 事業内容（おもな企画）

幅広い世代の地域住民が、自分の人生に責任をもって高齢期が過ごすことができるように必要な情報を獲得し、自分の望む暮らしを主体的に考え、備えることができる仕組みを作る。

With コロナを意識し、オンラインやSNS 発信、チラシの配布等、対象者に合わせ、様々な形態での企画や研修、啓発活動を行う。

①本人・家族支援

- ・本人や家族が終末期の一手手前の介護や暮らしについて考え、想像し、準備する機会をもつことができるような機会をつくる。（活動報告会や出前講座、啓発活動）
- ・住民が自主的に通い、見守り見守られ、介護予防に取り組むことができるつどいの場の運営や住民の運営を支援する。（介護予防教室など）
- ・生活支援コーディネーターと協働し、新たな社会資源の創出を検討する。

②地域連携支援

- ・対応が必要なケースの早期発見早期対応のため、行政、地域、介護保険事業者、金融機関など関係者と連携し、介入のタイミングをはかる。（すみきち新聞の発行、定例会議への出席）
- ・地域力を底上げし、地域からの孤立を予防するため、地域対象に広報や啓発活動を行う。
- ・小地域や小人数単位での活動報告会や住民交流会を実施し、総合相談の現況や当包括の実践を発信する。（出前講座、出張相談会、地域のサロンやふれあい喫茶への定例参加等。災害やコロナ感染症等非常事態で喫茶やサロンが休止中の場合でも情報提供や情報収集を行う）

③支援者連携支援（オレンジチーム、在宅医療介護連携相談室、生活支援コーディネーター含む）

- ・支援者の多職種連携、他職種理解を促し、適宜必要な支援機関と連携し、制度が活用できるようになる。（なごみーていんぐ、専門職団体との合同研修会の企画、居宅部会など専門職団体の会議への参加など）

④行政への働きかけ

- ・多職種連携、他職種理解の必要性をより理解していただき、適時適切に協働できる関係性を構築する。（地域ケア会議や活動報告会等への参加要請）

年間事業計画（予定）

月	内容	年 4 回	振り返りの地域ケア会議
年3回	北包括版 広報誌発行	6月～	家族介護支援事業
年3回	圏域内の専門職の研修	10月頃	老いに向き合う講演会
年3回	活動報告会	随時	出張相談会・出前講座
年1回	ケアマネと民生委員との交流会	随時	小中学校向け福祉教育
月2回	健康教室	随時	圏域内事業所への研修や交流会
月1回	介護福祉健康相談会（東粉浜・他）	随時	集い場づくり

2021年度 住吉区北包括支援センター介護予防支援 事業計画書

1. 収支（予算）

【予算収入と根拠】収入：ケアプラン料 人員配置の変更により、直プランが減少し、一部委託率の上昇が見込まれる。収入は減収となる。

【支出項目特記事項】2021年度より、三職種包括担当者5名で一人あたり20件を上限、地域包括ケア担当とケアプランナーを兼務する2名は、一人あたり25件をめにケアプランを担当することとなる。一部委託の件数が増加するが、直プランが微減するため、現状維持の予定。 支出：研修費（2のとおり）

2. 職員（育成・研修など）

圏域内や一部委託先のケアマネジャー対象にケアプラン研修を企画開催予定。
その他、委託元の大阪市からの必須研修、介護保険事業者連絡会や認知症関連事業、在宅医療介護連携事業、市老連などの企画する研修などへ参加予定。

3. 事業内容（おもな企画）

包括事業と動きをあわせて、圏域内のケアマネジャーのスキルアップや横のつながり作りを行う。

年間事業計画（予定）

月	内容		
年3回	ケアプラン研修		

1. 収支（予算）

【予算収入と根拠】

予算⇒7000 万円

4 月～報酬改定で若干の基本単価がプラスになったものの、大幅な増収は見込めない。新たに創設された加算も取得できるものが少なく、稼働率を安定させていくことが最大の課題である。具体的な数字としては月次で 550 万円～600 万円の達成を目指す。同時に、平均介護度も 3 前後を推移しなければ、予算達成は難しい。介護度は事業所で調節できることではないので、新規相談で重度の方も受け入れることができる体制作りと、引き続き最期まで支えることができる多職種連携に努めていきたい。

【支出項目特記事項】

●ガス給湯器 2 台⇒40 万円（1 台約 20 万円）

●ガスコンロ⇒30 万円

●浴室リフト⇒助成金で足らずの分数十万円

以上 3 点については老朽化や経年劣化に伴い購入が必要になると思います。

※浴室リフトについては、重度化対応に伴い必須です。

2. 職員（育成・研修など）

法改正にて無資格職員への基礎研修受講が組み込まれています。3 年の経過措置はあるものの将来的な義務化に備え、受講者の洗い出しなど準備が必要です。

また、今後アウトカム評価や科学的根拠に基づいた介護が求められていくことを睨んで制度の動向も見ながら事業所独自の取り組みも考える 1 年としたい。

新型コロナの状況も見ながらにはなるが、2021 年度も地域密着型サービスでの合同研修を 2 回/年は実施したい。

3. 事業内容（おもな企画）

新型コロナの状況によっては開催できない企画もあると思うが、やり方を工夫したり等して、可能な限り昨年と同じ内容で実施していく予定。

2020 年度～実施している誕生日企画については、7 月で一旦評価して今後の継続についても検討していく。

年間事業計画（予定）

月	内容	月	内容
4 月	さくらまつり	10 月	秋の外出
5 月	きずな開設記念、つつじ鑑賞	12 月	忘年会、バザー
7 月	保育所交流会	1 月	住吉小学校交流会
8 月	サマーカーニバル	2 月	節分、あびこ観音お参り

1. 収支（予算）6300 万

【予算収入と根拠】

新年度は、登録者 22 名のスタートとなる見込み。年間通して、登録者増を目指していく。昨年度は、地域機関（地域包括・ブランチ）等からの新規相談も増加し、ネットワークの強化に繋がってきた事からも、更に地域のネットワークづくりを増進させていき、安定的稼働率へ繋げていく。

【支出項目特記事項】

コロナ対応備品 70,000・地震対策備品 50,000

2. 職員（育成・研修など）

これまでの全体会議のあり方を一部見直し、職員各々のご利用者及び支援についての気づきや思いを共有出来る場の確立を目指していく。ご利用者の生活と支援の連動性について、個の点が線で繋がる様に、情報共有及び連携のあり方についての確立を話し合い、抜本的に見直しチーム力の強化を目指していく。

3. 事業内容（おもな企画）

コロナ感染症における感染予防対策をおこないつつ、地域社会との繋がりについて、取り組みを行っていく。ご利用者個々の馴染みの場所や物、人に触れる機会を感染予防対策上可能な範囲で、実践展開を行っていく。

また、日々日常の過ごし方について、感染予防対策を行いつつ、ご利用者の出来る事や馴染み、習慣に目を向け、一緒に笑い涙し悩める伴走者として「ご利用者の思いを叶える」個別の企画提案も大切にしていく。

4. 年間事業計画（予定）

上記記載同様、感染拡大が収まらない中であり、年間の企画予定を未定とさせて頂く。また、四季を感じられる楽しみの場の機会づくりを行っていく。

1. 収支（予算）4800 万

【予算収入と根拠】

新年度、9 名満床でのスタート予定である。昨年同様、医療面との連携及び日々の変化への気づきにより、長期間の入院を減少させていきたい。また、コロナ渦ではあるが、日常の中での楽しみがある日々の実践展開の強化を目指していく。

また、同時に安定的運営には、待機者の確保は必須事項である。他機関（他事業所）とのネットワーク作り含め、随時空き情報の共有も密に行い安定的稼働率へ繋げていく。

【支出項目特記事項】

居室の緊急避難灯（8 部屋分） 300,000 円・コロナ対応備品 70,000

2. 職員（育成・研修など）

昨年度実施した、他部署間研修は、今年度も展開を行っていく。他の場所を知るからこそ、自部署へ還元できる事も踏まえ、更に個々のレベルアップを目指していく。

職員個々の気づき思い→支援へ繋げる→実践→振り返り 日々の中で、助け合える支え合えるワンチームを目指す。また、日々の実践を振り返る機会をしっかりと設け、より職員が安心して自信を持って働ける、やりがいある環境づくりの下、チーム力の向上を目指していく。

3. 事業内容（おもな企画）

コロナ感染症における感染予防対策をおこないつつ、地域社会との繋がりについて取り組みを行っていく。特に、ご入居者個々の馴染みの場所などに一緒に出向く、個々の馴染みの場所や物、人に触れる機会を感染予防対策上可能な範囲で、実践展開を行っていく。

また、日々日常の過ごし方について、感染予防対策を行いつつ、ご入居者の出来る事や習慣に目を向け、一緒に笑い涙し悩める伴走者として個別の企画提案を大切にしていける。

年間事業計画（予定）

上記記載同様、感染拡大が収まらない中であり、年間の企画予定は未定。また、四季を感じられる楽しみの場の機会づくりを行っていく。